

会議要旨

【開催概要】

会議名称	令和6年度 第3回上牧町子ども・子育て会議
開催日時	令和7年2月20日(木) 14:30~15:30
開催場所	上牧町2000年会館 2階 会議室1
出席委員 (名簿順表記)	・高原委員・佐野委員・川島委員・福井委員 ・柏原委員・澤田委員・伊藤委員・植村委員 ・谷口委員・山田委員・森田委員・藤岡委員 ・淀委員・田野委員・辻本委員・尾崎委員 ・寺口委員・林委員・辻村委員(代理: 苧木) (計19名)
欠席委員	・中村委員・松井委員・俵本委員
事務局	健康福祉部こども未来課: 木下課長、宮本課長補佐 計画策定委託業者: (株)長大(木原、吉本)
会議次第	1. 開会 2. 議事 (1)パブリックコメントの実施結果について (2)計画最終案について (3)その他 3. 閉会
公開 / 非公開	公開
傍聴者	0人
その他	なし

【議事要旨】

事務局	<p>1. 開会</p> <p>本日の会議の成立の確認（委員 22 名中 19 名出席）</p> <p>※事前配布資料を確認</p>
事務局	<p>2. 議事</p> <p>(1) パブリックコメントの実施結果について</p> <p>資料の『「上牧町子ども・子育て支援事業計画（素案）」に係るパブリックコメントの結果について』を説明。</p>
委員長	<p>（委員に質問・意見を求めるが、質問・意見はなし）</p>
事務局	<p>(2) 計画最終案について</p> <p>資料の「子ども・子育て支援事業計画案」を説明。</p>
委員長	<p>（委員に質問・意見を求める）</p>
委員長	<p>計画の P. 14 の認可保育所の状況について確認したいことがあり、定員数に対して、入所児童数が多くなっているが間違いないか。</p> <p>また、令和 6 年度から待機児童が出た原因を教えてください。</p>
事務局	<p>入所希望者が多く、定員を超えて受け入れていたため、定員数に対して入所児童数が多くなっている。床面積や配置基準等は全てクリアしたうえで、児童を受け入れている。</p> <p>また、令和 6 年度に 4 人の待機児童が出たことについて、令和 5 年度までは待機児童なしで維持していたが、入所希望者が年々増加している出ることになった。令和 7 年度でも待機児童が出る見込みである。</p>
委員長	<p>計画の P. 21 のいじめ・不登校の状況について、いじめ認知件数が令和 4 年度で一度減少しているが、令和 5 年度以降にまた増加している。いじめ・不登校の対策は計画中に記載されていないため、ご説明いただきたい。</p>

指導主事	<p>いじめの認知件数については、文部科学省や県から、どこでもあり得ることであるため認知するように強く言われている。認知件数が0であることは、良いことではなく、逆に、児童・生徒をしっかりと見られていないと認識するべきである。学校にもその認識を大事にしながら、対応するように伝えている。</p> <p>対策としては、いじめにあっていることを自ら伝えることができなかつたり、いじめは見つけにくいところで起こり得るといったことから、毎年全学年アンケートを実施している。そのアンケートの記載内容を確認し、それぞれの児童・生徒に応じた対応、早期発見早期対応を大事にしている。</p> <p>また中学校では、定期的に相談する場を設けており、全生徒が担任教師や、相談担任者と面談を行い、困り事がないか把握するようにしている。それだけではなく、日々の活動を観察する中で訴えを聞いたり、話を聞いて指導したりしている。</p> <p>そのため、いじめ認知件数の推移も重要であるが、対応できているかを大事にしている。</p> <p>(3)その他</p>
委員長	<p>(委員に質問・意見を求める)</p>
川島委員	<p>当園では町と連携した行事や園独自の行事をしているが、その際にペガサスホールを利用させていただいている。ペガサスホールは、町の施設であるが、町内の保育園や学校法人、その他団体が利用する際に、減免措置等はないのか。</p>
事務局	<p>ペガサスホールの利用について、上牧町文化センター設置条例第9条に「町または上牧町教育委員会が主催する事業でセンターを使用する場合は、その使用料を免除することができる」とある。ここには、町が主催する成人式や敬老会、ペガサスフェスタ等の事業は含まれるが、保育園や学校が主催するものは含まれないため、減免措置等は行っていない。</p>
川島委員	<p>王寺町では、子育て事業の一環として、こども園や学校法人、保育園等の団体が文化福祉センター等の公共施設を利用する際に減免対象とされていた。本町では、町の規則が違うため、減免措置等はないという認識でよいか。</p>
事務局	<p>その通りである。いただいた意見は今後協議する。</p>

川島委員	<p>本町では、現在、消防パレードが行われているが、数年前までは消防パレードではなく、放水体験や防火服着用体験等を行っており、子どもたちが体験し楽しむことができるイベントであった。しかし、現在はパレードのみで、消防車が数十秒走っているのを見るようなイベントに変わった。以前のようなイベントは今後、実施する予定はないのか。</p>
事務局	<p>担当課に確認すると、年始に出初式を行っており、実際に放水している様子を見ることができるが、放水体験は、防水栓等の管理上の関係で実施が難しい。出初式以外にも春と秋に行われる火災予防運動で、消防車が道路沿いをパレード式で通るイベントがある。</p> <p>また、消防車への乗車体験が、自治体によって可能であるため、消防団に問い合わせることをお勧めする。他にも、桜ヶ丘の西和消防署南分署にはポンプ車があり、見学が可能である。本署である西和消防署には、はしご車があるため、消防署に直接問い合わせることで、はしご車の見学も可能である。</p>
川島委員	<p>承知した。</p>
伊藤委員	<p>2点質問させていただく。1点目は保護者の方々は、小学校の教員数が足りていないと感じるとのことである。</p> <p>2点目に新上牧中学校について、中学校が新しくなるにあたって、制服も新しくなるが、価格が高く、制服を新しくする必要はないのではないかということである。</p>
指導主事	<p>1点目の小学校の教員数については、義務標準法で定数が決まっているため、法定で決められている数しか教員を確保することができない。予算を捻出し、可能な範囲でスタッフや非常勤講師を雇っているが、予算を上げることは考えていない。</p> <p>2点目の新上牧中学校について、現在委員会を立ち上げ、その中で検討している。新制服も委員会で議論されており、今後パブリックコメントや新制服を展示し、ご意見をいただく予定である。制服は新しくなることが決定しているため、その決定が変わることは難しいが、いただいたご意見は、委員会でも共有する。</p>
伊藤委員	<p>新上牧中学校の制服について、新しくする必要があるのかについては、どのようにお考えか。</p>

指導主事	<p>現在ある中学校の制服は、それぞれ異なっている。また、近年ジェンダーについての問題を耳にすることも多い。上牧中学校の制服は学ランであり、男子生徒は学ラン、女子生徒はセーラー服といったのはよくないと判断している。生徒の制服統一及び、ジェンダーレスに取り組むために、新上牧中学校の制服は、新しくする必要がある。</p>
伊藤委員	<p>承知した。</p>
尾崎委員	<p>小学生の子を持つ親として、教員のケアが十分に行うことができているのか疑問に思っている。保護者から見て、教員が無理をしているのではないかと感じることもある。教員が児童や生徒に対して強く当たっていたり、嫌がらせが起こっているという話を聞いており、その原因は、教員のケアができていないことにあると思う。また、教員数が現状以上に確保することができない旨は分かったが、やはり教員数が足りていないため、教員も余裕がなくなっている。教員の労働環境を改善することで、児童・生徒にもよい環境が与えられると思うため、教員の労働環境の改善を検討してほしい。</p>
指導主事	<p>教員不足は国全体での問題であるため、教員不足の改善は難しいが、そうした中で、働き方改革により教員の負担を減らし、町のネットワークを広げながら、様々な対策を講じていきたい。</p>
柏原委員	<p>預かり保育について、預かり保育の終了時間が午後 4 時までだと仕事をしにくいという声が多い。保育園では、園児数が年々減少していることで、預かり保育を利用する方も減っている。預かり保育の時間が延長されれば、利用者が増えると思う。</p>
事務局	<p>預かり保育の時間は、延長する方向で検討を進めていきたい。</p>
澤田委員	<p>当園では、預かり保育を午後 6 時まで行っているが、午後 6 時でも間に合わず、さらに延ばしてほしいというお声をいただいている。預かり保育の利用料金を上げたこともあり、利用者が減少している中で、時間をどれほど延ばすべきか判断が難しい。小学校の教員数が不足しているとのことであつたが、幼稚園も同様に幼稚園教諭が不足しているのが実情である。</p> <p>また、幼小連携や幼保連携が必要であると考えている。その理由としては、当園の卒園者から、小学校に登校することが難しくなった子どもが増えているためである。以前、上牧幼稚園で幼稚園・保育所、小学校、中学校の教員が集ま</p>

	<p>り、話す機会があったため、そのような機会を増やし意見交換をしたい。また、教員が悩んでいる点を保護者の方々に共有することも必要であると思う。</p>
副委員長	<p>認定こども園の設立に関する長期利用の取り扱いについて、今ある幼稚園と認可保育園が統合し、認定こども園になるのではなく、今ある幼稚園等に加え、新しく認定こども園ができるのか。</p>
事務局	<p>今ある上牧幼稚園と上牧第一保育所が統合し、認定こども園になる方向性である。</p>
副委員長	<p>子どもは保護者の環境によって1号・2号・3号と区別されるため、認定こども園になると就学年まで1つの園で過ごせるようになる。認定こども園ではない場合は、転園が必要なことがあるため、子どもだけではなく、保護者も不安を感じることや、幼稚園教諭や保育士の負担も増える。</p> <p>以前、認定こども園の設立に携わり、その際に、認定こども園になったことで、保護者の方々から良かったというお声を多くいただいた。今回も、そのようなお声をいただけたらと思う。</p> <p>また、本会議で子どもの数や、教育者が不足していることについて、多く取り上げられていたが、当校は短期大学であるのだが、学生数も減少している。加えて、近年は2年制ではなく、3年制を希望する学生が多い。1年間長くなることで様々な子育てや、幼稚園教諭、保育士の勉強ができ、さらにその間に様々な園でアルバイトをして、どの園が自分に合っているのか等を考えられる。</p> <p>学生は、幼稚園教諭や保育士になりたいというだけでなく、療育を行いたい、発達障害の子どもに寄り添いたい等、具体的に自身の進路を探っている。</p> <p>そのため、認定こども園もそうであるが、学生は、子ども・子育て支援事業の一団体やサポート事業の中から、自分に合った仕事、子どもに対しての保育を考えている。子育て支援事業を進める中で、私も学生と一緒に考えていく必要があると実感した。</p>
事務局	<p>今後のスケジュールをお知らせする。</p> <p>本計画の軽微な修正については、委員会の開催は予定しておらず、委員長と相談し、冊子を完成させる。</p> <p>今後、本計画の最終修正を行う。その後、3月後半から4月にかけて発行し、各委員の皆さまにお渡しする予定である。また概要版についても、8ページにまとめ発行し、保育園等各関係機関に配布する。</p>

計画冊子と概要版は、後日ホームページにも掲載する。

3. 閉会

以上